

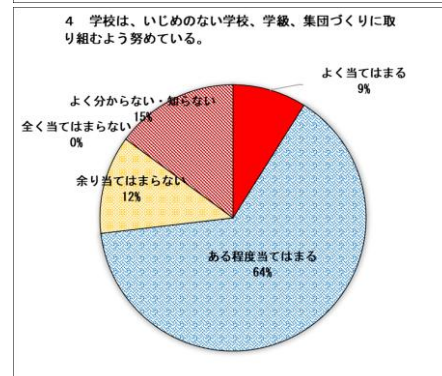
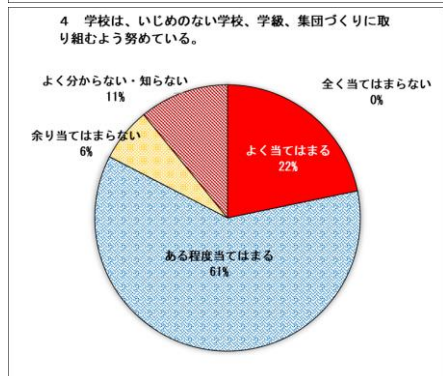
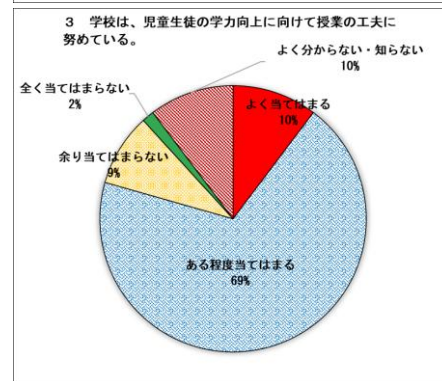
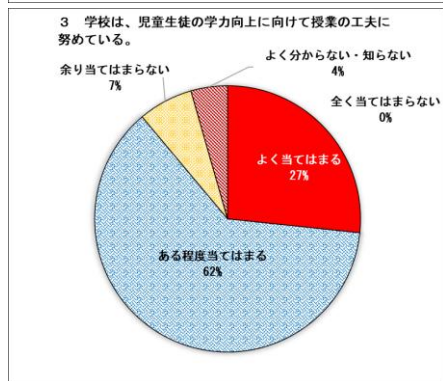
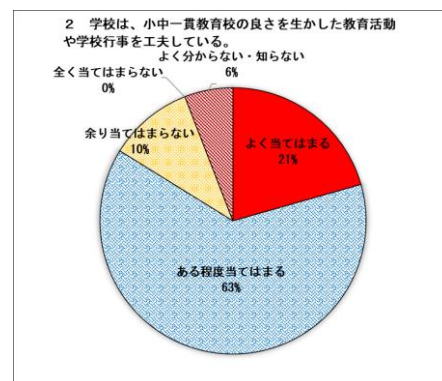
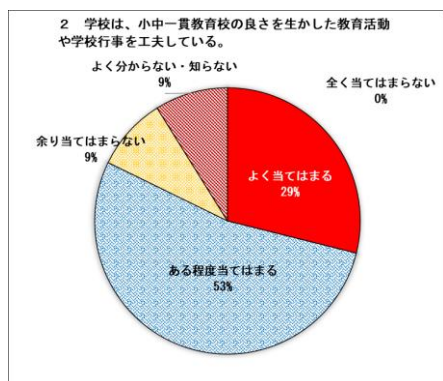
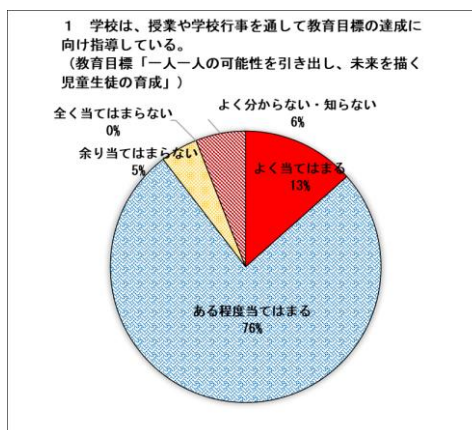
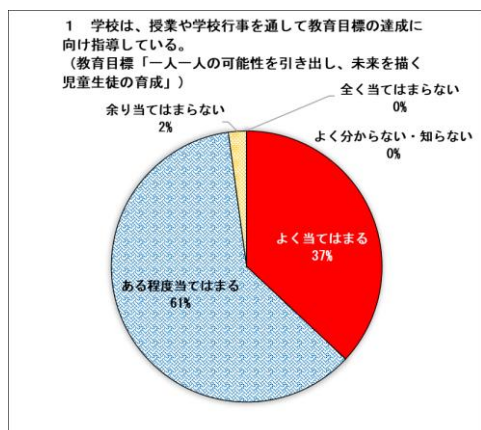
## 令和8年度第1学期 三和学園の教育活動についてのアンケート 結果と考察

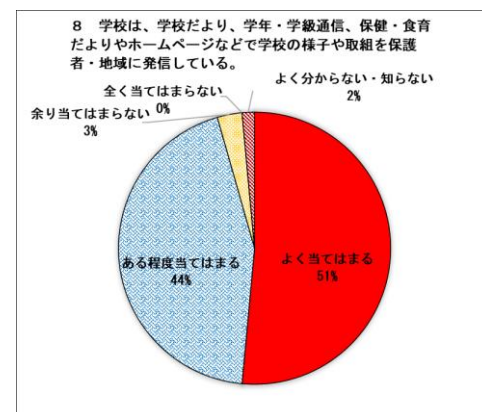
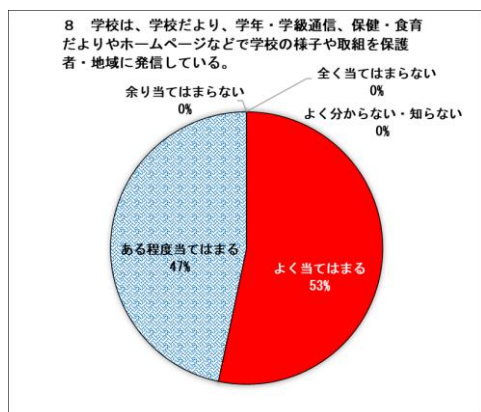
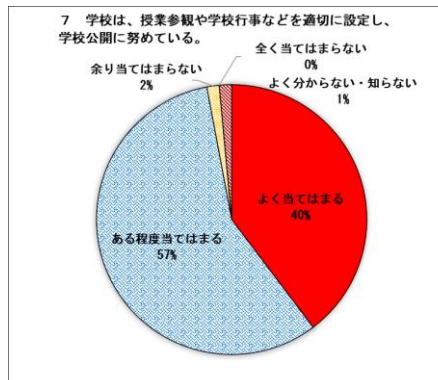
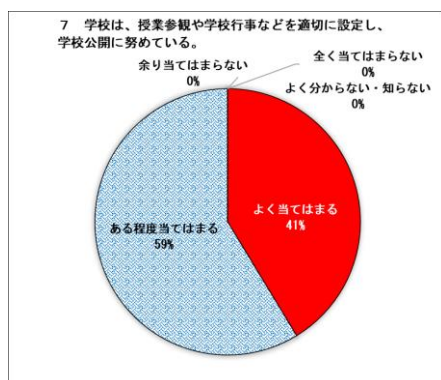
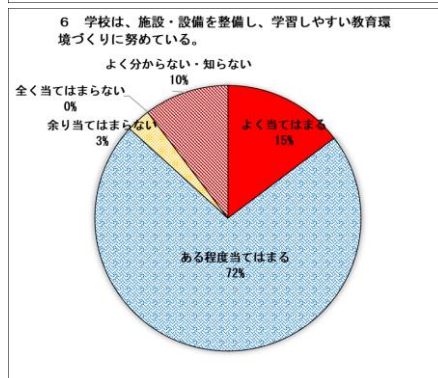
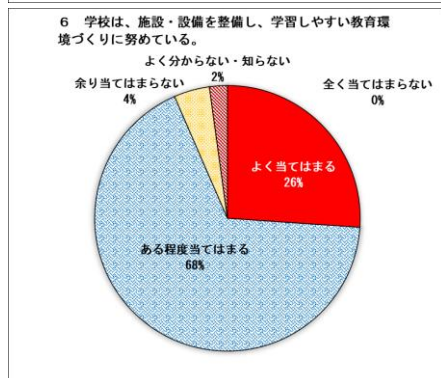
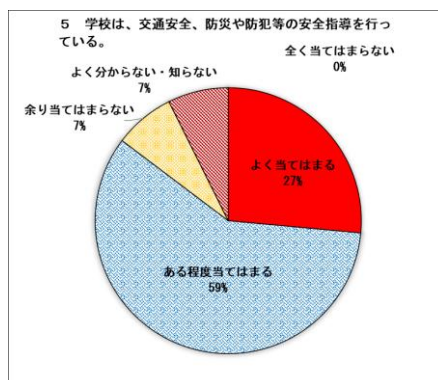
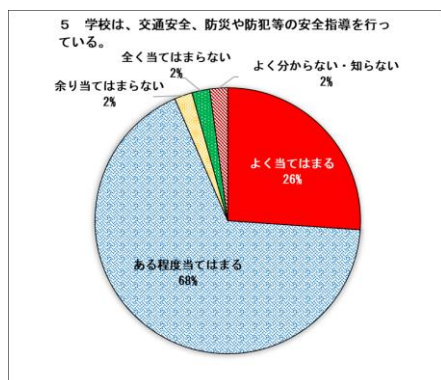
三和学園

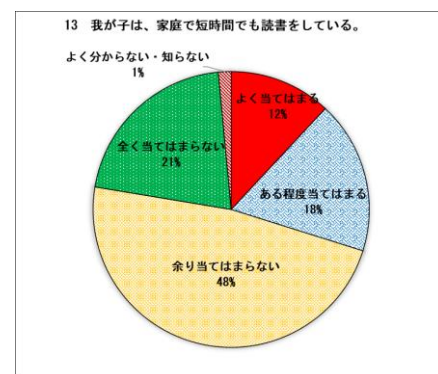
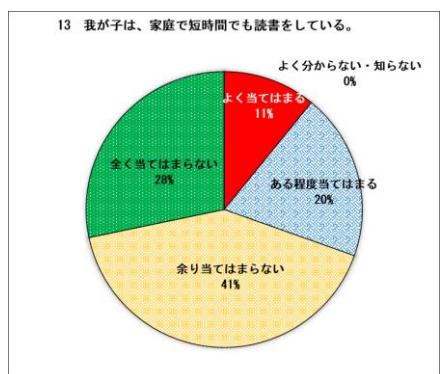
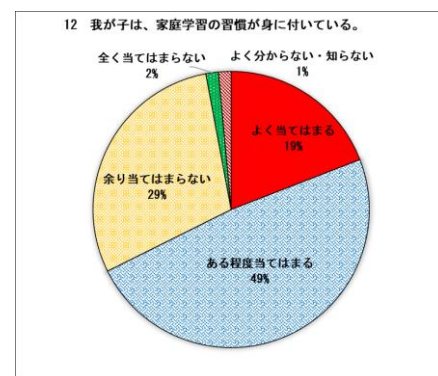
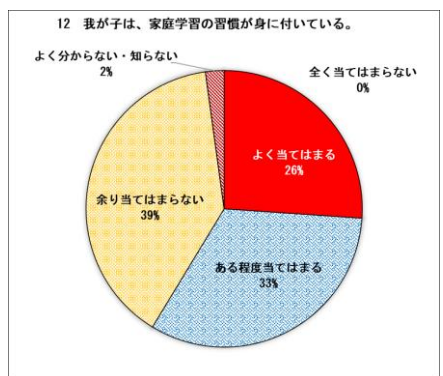
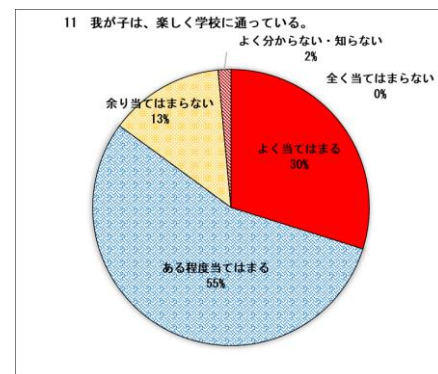
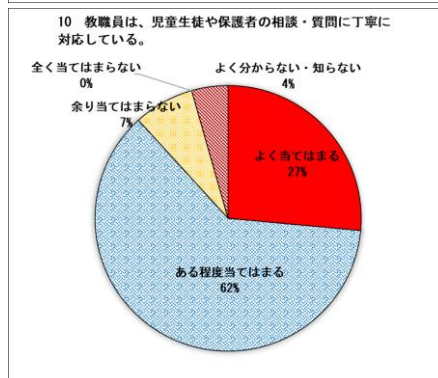
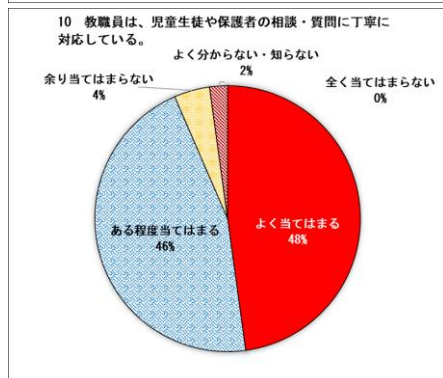
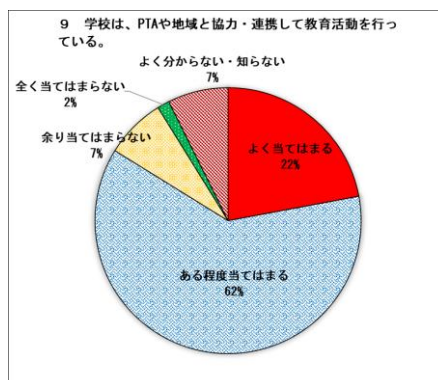
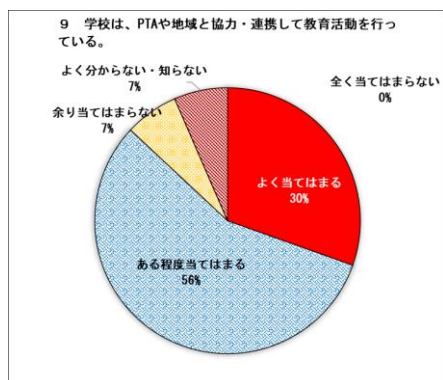
### 1 アンケート結果

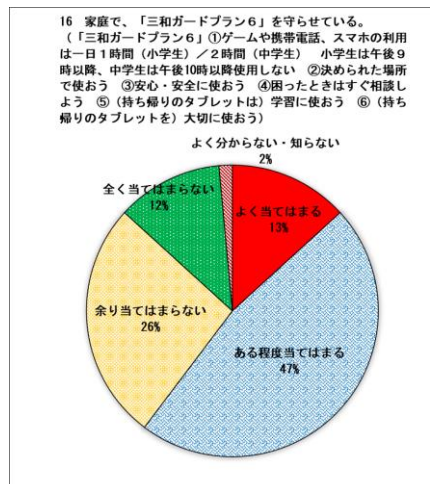
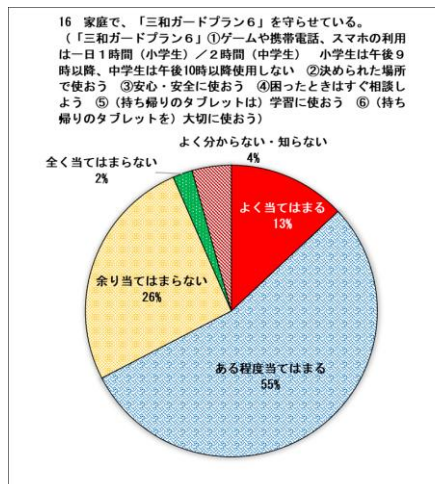
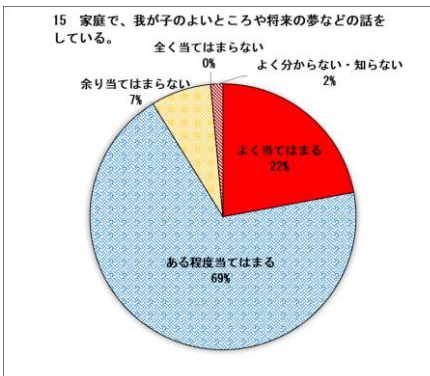
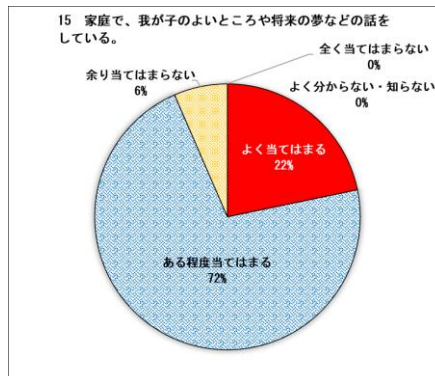
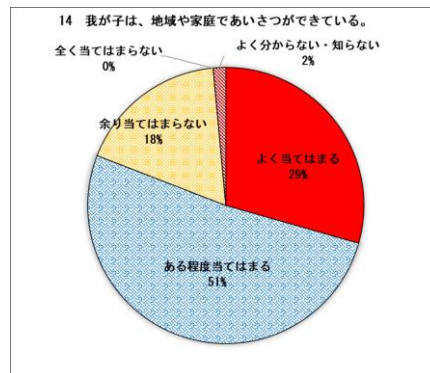
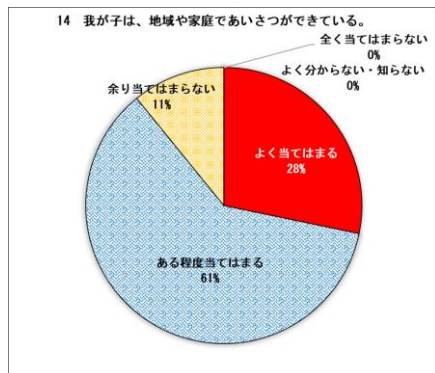
(1) 回答率 44.2% (令和7年度第2学期 66.7%)

(2) グラフ (左: R8\_1 学期、右: R7\_2 学期)

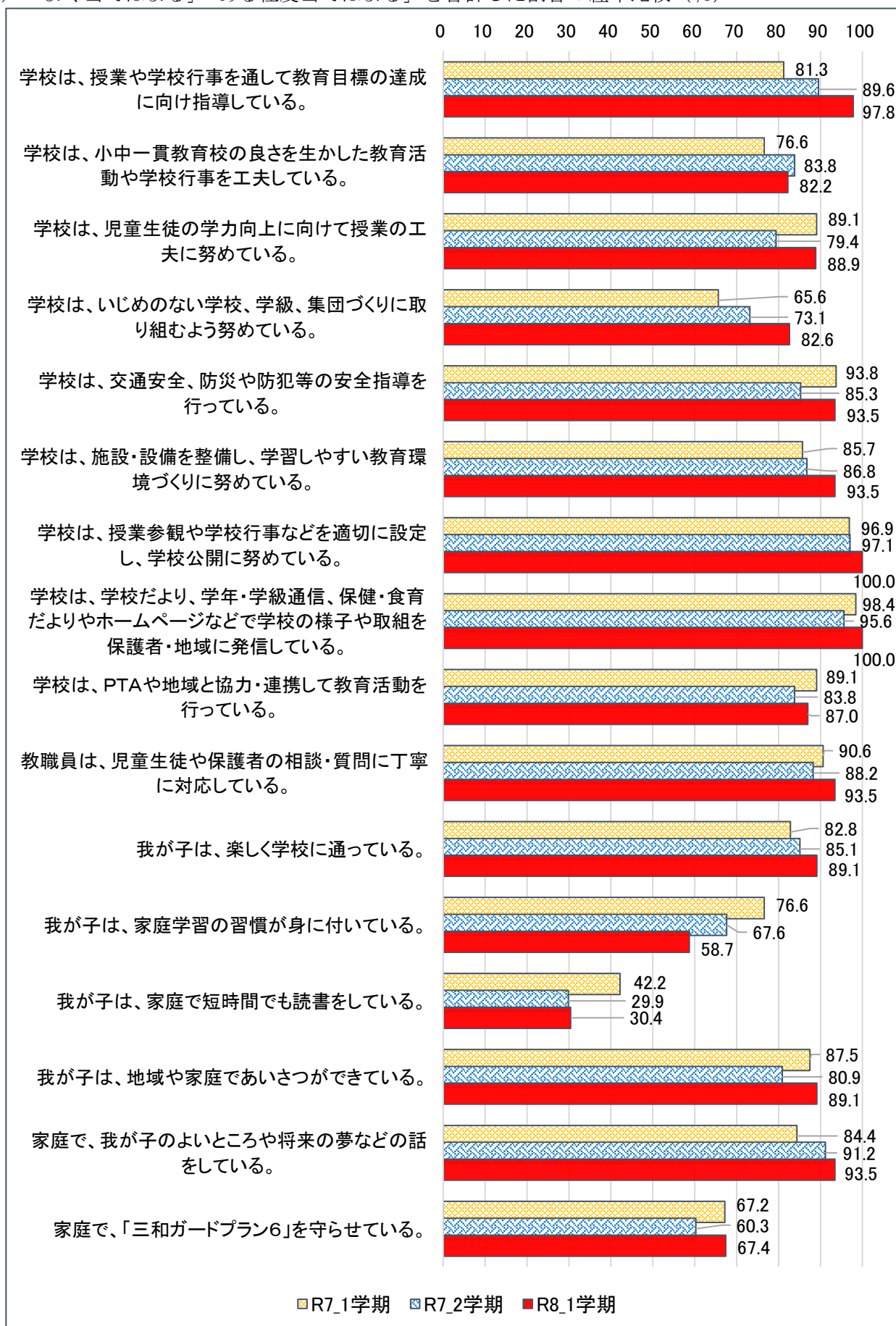








(3) 「よく当てはまる」「ある程度当てはまる」を合計した割合の経年比較 (%)



## 2 考察と今後の取組について

### (1) 肯定的な評価が高かった項目・伸びた項目

ア 学校は、授業や学校行事を通して、教育目標の達成に向け指導している。

→ 三和学園が取り組んでいる授業や学校行事などの教育活動と、掲げる教育目標が合致しているからこそ高い評価を得ているのだと捉えています。2学期には、人権学習参観や体育祭、文化祭といった大きな学校行事があり、学校から保護者の皆様に向けて発信する機会が多くあります。今後も、「一人一人の可能性を引き出し、未来を描く児童生徒の育成」に努めていきます。

イ 学校は、児童生徒の学力向上に向けて授業の工夫に努めている。

→ 三和学園が取り組んでいる授業の工夫が、保護者の皆様の期待値に届きつつあると捉えています。今後も更に工夫を重ね、児童生徒の学力向上に努めていきます。

ウ 学校は、いじめのない学校、学級、集団づくりに取り組むよう努めている。

→ 一人一人の児童生徒が大切にされる、安心安全な学校づくりは、学習の基盤として大変重要なことです。今後も児童生徒の変化を見逃さないように努めるとともに、児童生徒が互いの良さを認め合い、尊重し合う学校、学級、集団づくりを進めていきます。

エ 学校は、学校日より、学年・学級通信、保健・食育だよりやホームページなどで学校の様子や取組を保護者・地域に発信している。

→ 今回のアンケート結果で、肯定的な評価が100%でした。三和学園では、いろいろなたより、ホームページで諸取組や子どもたちの生き生きとした姿をお伝えできるように努めています。ホームページについては、児童生徒の登校日には更新していますので、もっと多くの方に閲覧していただけるよう呼びかけていきたいです。

### (2) 肯定的な評価が低かった項目・今後更に伸ばしたい項目

ア 学校は、小中一貫教育校の良さを生かした教育活動や学校行事を工夫している。

→ 児童会と生徒会の連携や全校遊びなどを行った1学期でしたが、保護者の皆様の期待は、更に高いものと思われます。今後も小中一貫教育の良さを生かした教育活動や学校行事を工夫していきたいです。

イ 我が子は、家庭学習の習慣が身に付いている。

→ 学校で家庭学習の意義や方法を児童生徒に分かりやすく伝え、習慣の定着を支援していきます。また、学年に応じた宿題の分量や、自力で解き進めやすい難易度を設定するよう職員間で共通理解を行います。また、「何から始めるか」の振り返りを学級で行い、家庭学習の習慣化につなげていきます。

ウ 我が子は、家庭で短時間でも読書をしている。

→ 前回調査から0.6ポイント向上していましたが、高いとは言えない結果でした。国立青少年教育振興機構「子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究」(令和3年3月)によると、読書には、「語彙力や文章理解力といった認知能力の向上」「心理的健康の改善」「寿命の延長」という効果があるとのこと。また、同機構の「子どもの生活力に関する実態調査」(平成27年5月)では、「読書をする子どもが多い子どもほど、コミュニケーションスキルや礼儀・マナースキルが高い傾向にある。」という効果も報告されています。学力向上への効果だけでなく、コミュニケーション能力向上や健康的な生活促進につながるという面から、今後も読書を推奨していきます。

## 3 ご意見やご感想についての回答

### (1) 小学部に対するご意見やご感想についての回答

ア グラウンドを使えるようにしてほしいです。地域に遊ぶ場所がなく、周辺の施設はアクセス面や危険性で利用しづらい現状があります。部活動だけでなく、子どもたちが日常的に遊べる環境づくりに学校側も協力をお願いします。

→ 平日は中学部の部活動、土曜日は午前中に部活動、午後から社会体育団体の使用、日曜・祝日は終日社会体育団体でグラウンド及び体育館を使用するため、「遊び場開放」としての使用をお断りしている次第です。学校のグラウンドや体育館は、社会教育のための施設でもあ

り、教育活動外では自由に使えない面があります。

ただし、部活動のない水曜日については、児童は一度帰宅してから、保護者の付き添いの下でのみ使用してもよいこととします。利用中の事故や利用者同士のトラブルは、学校及び教育委員会では責任を負いかねます。お子様のけがなどは、原則として、保健室の利用はできませんので、保護者・ご家族の皆様のご対応をお願いします。その場合は、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の対象とはなりませんのでご了承ください。

(2) 中学部に対するご意見やご感想についての回答

ア 部活動の活動日が少なく、教員が複数配置されている意義に疑問を感じます。教員の働き方改革への理解はしますが、子どもたちの運動機会を確保するため、教員が関与しない自主活動日の設置などを求めます。

→ 長期休業中の活動日のことを仰っていると推察してご回答します。長期休業中は、児童生徒が休みであっても、教職員は学校外での研修等が増えますので、それらの状況に鑑みて活動日を組んでいます。もっと詳しいことをお聞きになりたいということであれば、各顧問までお問い合わせください。

(3) 学園全体に対するご意見やご感想についての回答

ア 「ホームページの報告は、詳細で内容がよく分かり、クスッと笑える表現も時々あり、いつも興味深く、楽しく読ませていただいています。」

→ ホームページは、「小中一貫教育校」三和学園の教育活動を広く皆様にお知らせする大切なツールだと捉えています。特に、日々更新している「三和学園ニュース」は、取材や下調べを重ねながら、子どもたちの学びや気づきが皆様に伝わるものにしたいと思い、可能な限り詳しく記述しようと心がけています。そうすることで、多くの方に三和学園教育をご理解いただくとともに、「また読んでみたい。」と感じていただけたと考えています。今後ともよろしくお願いします。

イ 「三和学園ならではの取組や性教育講話（他学年への展開希望含む）に感謝しています。ただ、学期ごとのアンケートでは頻度が低く一方通行になりがちです。意見箱など、日々の前向きな思いや提案を気軽に共有でき、対面をはじめとした「顔の見える対話」を増やせる仕組みがあるとうれしいです。」

→ 三和学園では、日常的な皆様のお声を日々（勤務時間の範囲内ではありますが）お待ちしておりますので、現在のところ、意見箱の設置は考えておりません。引き続き、お子様の健やかな成長に向けて、学校と家庭で手を取り合っていければ幸いです。

ウ 「多様な社会を生き抜くため、異なる意見を持つ相手と話し合い、着地点を見出す『合意形成の力』は重要です。子どもたちが発達段階に合わせて話し合いや議論を実践できる機会を、今後も多く設けてほしいです。」

「いろいろな国籍にルーツがある子どもたちや、様々な国籍の子たちが在籍している国際色豊かな環境を生かし、相互理解を深める活動を一層推進してほしいです。地域総合学習とともに三和学園の特色として深めることで、国際感覚や他者受容の姿勢、発信力が身に付くと期待しています。」

→ 異なる価値観の中で多様性を認めつつ対話を重ね、自分の考えを伝えつつ相手の意見にも耳を傾け着地点を導き出す力は、将来に向けて、そして、グローバル社会でも求められる力です。学級活動や行事、授業でのグループワークなどを通じ、子どもたちが遠慮なく意見を出し合い、合意形成を学べる機会を工夫していきます。また、国際色豊かな環境や、三和創造学習の取組を生かし、交流活動を通して多文化理解を深められるようにしていきます。

最後になりましたが、皆様からの貴重なご意見は、私たちにとって大変ありがたく、今後の学園運営の参考にいたします。お子様の健やかな成長を願い、保護者の皆様と共によりよい教育環境をつくっていきたいと考えています。引き続きご理解とご支援をお願いいたします。